

ユスト 高山右近の会ニュース

「高山右近の列聖・列福を願う集い」告知版第2号 Takayama Ukon News

2014年2月23日 発行

カトリック京都教区奈良ブロック協議会

「ユスト高山右近の会」実行委員会

発行責任者(委員長) 岩本 稔

編集責任者(企画チーム) 松本雄一郎

**心ひとつにして、あなたも列聖・列福運動に参加し、
右近の靈性に学び、日々、実践していきましょう！**

大塚司教さまのメッセージ(2)

「高山右近の列聖・列福運動の今日的な意義」

日本カトリック教会は(中略)1862年以降、2008年までに230名の殉教者の模範をいただいております。そして今、極めて特徴的な生き方を通して神の愛と救いを証したユスト高山右近(1552-1615年)を殉教者として列聖列福運動を続けています。

処刑される殉教と共に、迫害と追放に耐えて死んだ人も殉教者です。教会は伝統的に早くから信仰のための追放は殉教者であると教えてきました。

(中略)ユスト高山右近は武士社会で地位と名誉を捨てて福音に従う生き方を選び、度重なる追放の末、最後まで信仰を貫き、ついに日本から追放されてマニラに到着後わずか40日余で亡くなり殉教したのです。

(中略)私たち現代のキリスト者は、殉教者たちの“死に方ではなく生き方”を学び、福音を証する使命を再認識し、使命の遂行のための恵みを聖人の取次によって祈り願うことです。(中略)現代日本にキリスト教への迫害という状況はありませんが価値観の多元化と相対主義の時代に、人々は自分勝手に自分のために人生を生きるのが当たり前だという考えが普通になってきました。(中略)ユスト高山右近の波乱の生涯は、キリスト者としての葛藤と選択を重ね、確固とした信仰者へと成長しそれを生き抜いた人間ドラマです。“他者のために生きる”ことは間違っているとの精神の迫害があります。現代の私たちキリスト者は、“信仰を一貫して持つて生きる姿”を通して社会の中で福音を証する使命が与えられている事を、肝に銘じる必要があります。

(古巣馨神父著「ユスト高山右近・いま降りる人へ」・・・
大塚司教様の巻頭の言葉から転載・一部編集)

協賛事業・右近 CD 販売が始まる！！

「ユスト右近讃歌」CD

¥2,000

「子どものテ・デウム」CD

¥2,000



申込みは、各実行委員を通じて仲川久代さんまで。

音楽と演劇で構成

「ユスト高山右近の列聖・列福を祈る集い！！」

キリストの兵士・高山右近の生涯

2014年11月15日(土)大和郡山城ホール
多くの信徒や、他宗教、各右近研究会、幼稚園児、合唱グループ、一般の右近ファンなど1,000人が一堂に集まり、ともに歌い、ともに演じ高山右近の列聖・列福を祈願しましょう！！

“皆さん、”祈る集い“の準備活動中です！！

6つのチームのサポーターも募集しています！！

演出家 熊本一さんのご紹介

熊本さんは、生駒市出身で、今年で43年目を迎える社会人劇団「劇団大阪」を率いてこられた演出家で、現在73歳。“人としての正義が揺らぐ



正義とは何かと問いかける衝撃の舞台「親の顔が見たい」の演劇で、2月に「大阪演劇フェスティバル作品賞」を受賞されました。演劇の好きな人たちを率いてこられた多くの実績を持っておられ、明るい笑顔で、奈良ブロックの信徒の役者の皆さんを、上手にご指導いただけるでしょう。どうぞ期待！！

出演者募集中！！ 4月にオーディション開催予定

41名の役者(応募者が出ています！)

ヒップホップダンサー、合唱グループを募集中です。

3月から合唱グループの練習が始まります！！

役者の応募は、各実行委員まで。締切は3月末

協賛事業・右近Tシャツ販売が始まる！！

サイズ：LL・L・M・S

値段：800円

デザイン：荒波を越えて進む「信仰の船と右近の十字架」を表しています。



Tシャツを着て“右近こども祭りに行こう！”

申込みは、3月2日(日)各実行委員まで。